

◆ 主 題 名 (生徒に提示するもの)	挫折を乗り越えて生きる
------------------------	-------------

内容項目	見出し	教材名
A - 4	よりよく生きる喜び	挫折から希望へ
価値項目		
1・2・3・4 人間の弱さを乗り越え克服するための強さや気高さがあることを理解する。		
本時のねらい		
人間の弱さを克服するための強さや気高さについて理解し、よりよく生きていくための実践意欲を育てる。		

主題発問に向かうための導入・場面発問	
導入	発問 今まで何かにいきづまりあきらめてしまったことはないか
	補助発問 どんなときにあきらめたりする？なんであきらめるの？
場面①	発問 次から次にコンクールに落ちたときの千住さんの気持ちはどうだっただろう。
	補助発問
場面②	発問 父が千住さんにダイヤモンドにたとえて話してくれたときにどんなことを考えたのだろう。
	補助発問
場面③	発問 千住さんが涙をこぼして言った「ありがとう」にはどんな意味が込められていたのだろう。
	補助発問

◆ 主 題 発 問	挫折したときに自分の弱さを乗り越えていくためには、どのようなことが大切だろう
-----------	--

◆ 学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ (ペア ・ グ ル ー プ ・ フ リ ー) ⇨ 個			

留意点等	主題発問では、「努力する」「希望をもつ」「挫折を乗り越える」「粘り強く頑張る」などの発言があるかと思います。 それに対して、「どんな気持ちのときに挫折しやすいのか?」「挫折をして簡単に立ち直れるものなのか?」「挫折して落ち込んでいるときに立ち直るためにはどんな気持ちが必要なのか?」など、人間の弱さについて補助発問で揺さぶりをかけていただきたいと思います。 最終的な感想で、挫折を克服するためには、強い気持ちや気高さをもって努力したらよりよい生き方ができるなどの前向きな感想が出るとよいと思います。
------	---

授業後の振り返り	導入・主題発問において、「挫折」を経験したことのある生徒が少なく、自分のこととして考えさせることができなかった。また、「自分の弱さ」についても、ピンときていない生徒が多かったように思う。 しかし、経験がないからこそ、千住さんの生き方を通して、想像して考える必要がある。教材をうまく利用したり、補足説明で、子どもたちの理解を深める必要がある。 想像して考えるだけでも、生徒にとっては良い刺激となると思った。
----------	--